

「職員の働きやすさ」を経営の基として。

“職員の働きやすさを大切に”をモットーに職員ファーストでスタッフを見守る同社の経営姿勢。現場で働く社員の声に耳を傾け、整備された労働環境や充実の教育内容で職員満足度を高め、常に質の高い介護サービスを笑顔と共に提供しています。



育児休業

子育て世代が働きながら安心して育児ができるサポート体制を充実

共働き世代の夫婦が育児を分担できるような働き方について気軽に相談ができる体制を整備し、男性もしっかり育児休業が取得できるように、マルチスキルな職員を育成し休業中のサポート体制を整備。それにより3名の男性職員が30日～85日の育児休業を取得した。

コミュニケーション

笑顔から生まれる温かい多職種間コミュニケーションを大切に

シームレスな介護を提供するためには、笑顔あふれる雰囲気から生まれる温かい連携が大切ということで「友の会を変えるのは君だ!!コンテスト」等を開催。それにより、職種を超えた職員同士のコミュニケーションが図られるようになった。

年休取得促進

アニバーサリー休暇の充実を図り、年次有給休暇取得を促進

職員の休暇取得に関する意識や意向を会議時にヒアリング。職員の望む休暇制度を定期的に把握することにより、誕生日には心と体をリフレッシュしてもらおうと温泉入浴券をプレゼントする等の施策を実施し、年次有給休暇の取得を促進をしている。

◆トップのコメント

創業者で昨年亡くなった前理事長、大島良助が常日頃から申してましたのは『お客様への最良サービスの提供は職員の笑顔から』でございました。

職員の笑顔の源は①職場の働きやすさ、職員間の心安いコミュニケーション環境 ②ワークライフバランスの重視、心安らぐ家庭生活の構築 ③その人らしい生き方・人生について仕事を軸にして考えられる職場づくり にあると考えます。友の会では、職員の人生が実りあるものになり、お客様・職員・施設の三方良しを経営の根幹に据えております。

持続可能な未来を築くために、国連が定めた2030年までに全世界が達成すべき17項目の目標・SDGsの8番目に『働き甲斐も経済成長も』とあります。友の会では『働き甲斐も人生の充実も』と読み替えて、笑顔あふれる職場づくりを更に強力に進めて参ります。

◆男性社員のコメント

職場には育児休業についてのポスターやパンフレットが掲示されています。担当者に相談したところ、制度や申請方法、手順等について丁寧に教えてもらうことができ、出産から1か月間の育児休暇を取得することができました。妻からは、一緒に育児ができたことを感謝され、家族の絆を更に深めることができました。育児休業取得で職場に迷惑が掛かるのではないかと心配でしたが、同僚のサポート体制がしっかりと組まれていましたので、安心して育児に専念することができました。育児休業を取得して本当に良かったと思っています。

# 男性の育休取得

社会福祉法人友の会

## ① 事業主から労働者へのメッセージ

仕事の充実、良き家庭環境から生まれます。家庭環境の充実、家族間の思いやりが基です。産後の育児期は家族の思いやりが欠かせません。そして、育児は人間を成長させます、それは仕事にも生きるはずで。

復職後、笑顔でみんなに迎えられ、充実した仕事ができるよう願っています。職員みんな、一回り大きくなったあなたを待っています。

## ② 企業からの利用者への個別の働きかけ等、申し出までの経緯

制度の周知ポスターを全部署に配付し、制度の周知や取得促進を図った。また、いつでも確認できるよう職員用掲示板にパンフレットを掲示した。

### ・工夫した点

パンフレットについては、労働者（本人）と法人上司と先輩パパ・ママの3者の立場で知っておくべき情報やコメントを、妊娠中→産休中→育休中→復職後まで場面ごとに整理し、わかりやすくまとめた

## ③ 育休取得に向けた準備

- ・育児休業取得について本人の意向を確認した後、育休の制度や休業中の給与や給付金についてなど個別に説明する場を設けた。
- ・夜勤の回数や休憩時間を確保するため、業務の応援等について協力ユニットに相談し、協力体制を構築した。また、勤務表をシミュレーションし、育休を取得しても問題なく勤務を組めるか等についてユニットリーダーに確認した。

## ④ 復職後のサポート

- ・勤務表は復職前と変わらず、夜勤を含む変則勤務に対応している。

## ⑤ 育休取得者のコメント

### 〈取得したいと思ったきっかけ〉

- ・妻は初産で妊娠後期は体調が安定せずに数か月入院生活を送った。出産後は、自分もしっかりと育児に関わり妻の負担を減らしたいと考えた。男性職員の育児休業取得の前例があったので取得の申し出はしやすかった。

### 〈配偶者の反応〉

- ・育児取得に関しては二人で話し合っただけで決めた。出産後は二人で育児ができることを喜んでいて。

### 〈上司・同僚の反応〉

- ・上司、同僚共に取得に関してとても理解があり、協力的だった。取得に関して、みんなに迷惑がかかるのではないかな等の迷いも少しあったが、「しっかり育児しておいで」と声を掛けてもらった事もあり、周りに背中をおしてもらった部分もあると感じる。

### 〈取得にあたって準備したこと（仕事面）〉

- ・ご利用者の情報は、普段からユニット職員全員が共有しているので、特に問題なく引き継ぎができた。

### 〈取得にあたって準備したこと（家庭・子育て面）〉

- ・出産後の育児の分担について、また、育休中の収入について等夫婦でよく話し合った。

### 〈育児休業中どう過ごしたか〉

- ・子育ての全てを妻と共同で行った。

### 〈復職後の働き方と育児について〉

- ・働き方は復職前と特に変わらず、変則勤務を行っている。妻も育休後はフルタイム勤務で働いているため、復職後も子育ては夫婦で協力して行っている。
- ・育休中にしっかりと子育てに関わったため、何でもできるようになった。子育てを協力して行うことを負担に思う事はない。

### 〈育児休業を取得した感想〉

- ・子育ては大変だが、子どもと関わる時間を十分に取ることができ良かった。出産後の体調の安定しない妻の負担も減らすことができたと思う。

### 〈これから育児休業を取得する男性職員へのメッセージ〉

- ・ぜひ育児休業を取得し、夫婦で協力して子育てをして欲しい。